

【別紙 1】

◆2023年2月24日時点で焼津 PORTERS に入居決定している飲食店舗・企業名

□飲食店舗

- ・「こめふく」（焼津市内企業による新店舗）
- ・「ピーターパンカフェ（仮）」（株式会社焼津冷凍による新店舗・今夏開業見込み）
- ・「店名未定」（次世代の焼津ブランド創出協議会による新店舗）

□企業名

- ・FPK ナカタケ株式会社（静岡県焼津市、家具製造・インテリア業）
- ・ナカタケテック株式会社（東京都墨田区、IT業）
- ・株式会社東海道シグマ（静岡県静岡市、人材派遣業）
- ・しずおか焼津信用金庫（静岡県静岡市、金融業）
- ・株式会社 RIGI（神奈川県川崎市、経営人事コンサルティング）
- ・株式会社 LANDMARK（東京都中央区、地方創生スタートアップ）
- ・スローネイバーフード事務局（東京都新宿区、地方創生業）
- ・石栄建物株式会社（東京都世田谷区、建設業）
- ・合同会社うさぎ企画（静岡県長泉町、地方創生コンサルティング）



アウトドアにも、もしもの時の備蓄食にも使える！焼津伝統食材をアップデート 新商品やいづキャンプ飯 2023年3月発売開始

2023年2月吉日

発信元：次世代の焼津ブランド創出協議会

■やいづキャンプ飯とは



静岡県焼津市は、全国主要漁港の水揚げ金額ランキングにおいて6年連続日本1位(2022年1月現在)と、全国有数の「魚のまち」として知られています。マグロ、カツオを中心とした鮮魚はもちろん、日本で一番最初に生産されたツナ缶に代表されるような伝統的な水産加工品(かつお節、なまり節、黒はんぺん、なると、佃煮等)も、地域の食文化を語る上で欠かせないものであり、全国に誇る「食品加工のまち」でもあります。

焼津に根づく食品加工技術は、元来鮮魚を長期間保存しておくために発達してきた文化があり、そこには独自技術が受け継がれています。そんな地域のリソースを活用し、常温・長期保存可能という商品価値を昨今注目されているアウトドア市場へ活用できないかと考えました。そこで始まったのが市内14事業者が参画・ネットワークを構築し統一



長期保存可能
土産物だけでない
新たな価値創出
キャンプ飯



■参画事業者の特徴～志ある老舗の跡継ぎ&次世代経営者が集まりました！～



四代目女性社長(30代)



元ダイバー六代目(30代)

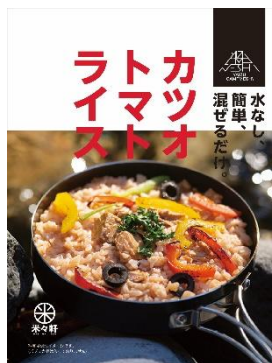
参画事業者は老舗企業の30～40代の次世代後継者を中心に、それぞれにストーリーや背景のある若く志あるメンバーが集まり、共創の精神で取り組んでいます。

＜参画事業者(14社)＞

あまる齋藤商店(さば加工)・シーラック(かつお節)・新丸正(かつお節)・石田缶詰(レトルト食品)・寺岡けい吉商店(佃煮)・マルイリフードサプライ(まぐろ加工)・福一漁業(まぐろ加工)・めぐみ珈琲ラボ(珈琲焙煎)・カネオト石橋商店(なまり節)・ヤギショー(アルファ米)・いちまる(食品加工)・天神屋(惣菜)・はれ日和(居酒屋)・川直(なまり節)

■新発売の開発商品(一例)

開発商品は、焼津市の伝統食材(なまり節・さば・佃煮など)を活用し、「キャンプ飯」という切り口で、若手デザイナーとコラボ・ブランディングしました(※14品新発売)



■今後の販売計画について ★2023年3月4日(土)焼津 PORTERSにてお披露目展示即売会&トークイベント開催!

- ・2023年3月10日～12日 MUJI 銀座にてPOPUP形式のテスト販売を実施
- ・2023年4月以降 焼津市ふるさと納税にて販売/参画事業者各社直売/公式ECサイトOPEN
- ・全国のアウトドアショップ、防災ショップなどへの販路開拓実施中です!

＜本件の問合せ先＞ 次世代の焼津ブランド創出協議会 事務局(株式会社東海道シグマ教育事業部内)
広報担当者: 岩崎真紗美(携帯☎090-3155-7834) / mail: jisedai_yaizu@sigma-jp.co.jp